

平成29年度

名寄市議会 議会報告会



※平成29年4月17日に開催した名寄東小学校での議会報告会の様子

平成29年10月16日（月）

- ◎東12区町内会館
- ◎1区町内会館

午後1時30分
午後6時00分

平成29年10月17日（火）

- ◎栄町団地集会場
- ◎智恵文多目的研修センター

午後6時00分
午後7時00分

平成29年10月18日（水）

- ◎豊栄福祉会館
- ◎子育て支援センターひまわりらんど

午後6時00分
午後7時00分

平成29年10月19日（木）

- ◎西部地区集落センター
- ◎児童センター
- ◎東風連子供と老人福祉館
- ◎瑞生コミュニティセンター
- ◎高見区町内会福祉会館
- ◎東部地区集落センター

午後1時30分
午後3時30分
午後6時00分
午後6時00分
午後6時30分
午後7時00分

報 告 会 次 第

1、開会

2、班代表者挨拶

3、出席議員自己紹介

4、報告

◎議会の活動報告

※定例会及び臨時会の審議概要について

・平成29年第2回臨時会～平成29年第3回定例会

※各委員会の行政視察について

※政務活動費（平成28年度）について

※議会改革の進捗状況について

※名寄市議会に関する市民アンケート調査結果

※公共施設使用料の改正について

5、意見交換

6、お礼の挨拶

7、閉会

報 告

【定例会及び臨時会の審議概要について】

4月開催の議会報告会以降に開催された定例会及び臨時会の審議概要は以下の通りです。

※平成29年第2回臨時会 （5月10日）

名寄市税条例の一部改正など3件の専決処分について承認し、名寄市教育委員の任命について中枝範子氏（新任）を任命することに同意しました。

※平成29年第2回定例会 （6月9日～6月23日）

一般質問に14人と多くの議員が登壇し、市政の課題について質問を行いました。昭和47年の開校以来45年が経過し、施設、設備の老朽化が著しい、風連中央小学校校舎・屋内運動場の工事請負契約の締結についてを原案通り可決しました。

主な補正予算では、地域の担い手の育成・確保の推進のため農業機械等の支援の経費として経営体育成支援事業費353万4千円を可決、風連御料線のバス運行形態見直し調査及び実証運行業務委託に係る経費として地域交通対策事業費290万円を可決、不正アクセス防止に対するセキュリティ体制強化に伴う保守料の増加と、より一層のセキュリティ環境の構築に対する費用として大学教育振興事業費1696万5千円を可決しました。

また、今定例会において、経済建設常任委員会が年間の調査研究テーマとした「除排雪の調査・研究」について、担当部署・町内会長との意見交換、道内6ヶ所の先進地視察を経て、委員間で議論を行い「現行の施策をベースにサービスの向上を図るための対策が必要である」と委員会としてまとめ、本会議にて委員会所管事務調査報告を行いました。

尚、同定例会では「地方財政の充実・強化を求める意見書」他4件の意見書を可決しました。

※平成29年第3回定例会 （9月4日～9月28日）

一般質問に11人が登壇するとともに、「名寄市開業医誘致条例の制定について」を市民福祉常任委員会に付託、「公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について」を公の施設の使用料及び利用料金等の見直しに伴う関係条例の整備に関わる審査特別委員会を設置し付託、それぞれ閉会中継続審査としました。

主な補正予算では、中小企業の振興並びに地域経済の活性化を図るとともに、良質な住環境の整備などを促進するために実施している補助金について、現在の状況と今年度の需要を踏まえた当初予算からの増額対応として、住宅改修等推進事業補助金2,000万円を可決、名寄市社会福祉協議会に成年後見センター事業の運営を業務委託し、法人で後見人の受託をすることができる体制を構築するための、成年後見制度法人後見支援事業委託料316万4,000円を可決しました。

また、今定例会において、全議員をもって構成する「平成28年度決算審査特別委員会」を設置し、各種事業の継続性、新規事業への考え方など、適正な予算執行にかかわって慎重な審査を行いました。審査の結果各会計決算はいずれも正確な収支が行われ、予算の執行が適正であったことを認め、認定すべきものと決定し結審しました。

なお、同定例会では「軽油引取税の課税免除特例措置の継続を求める意見書」他5件の意見書を可決しました。

【各委員会の行政視察について】

現在各常任委員会の行政視察は、任期中予算の範囲内で道内と道外の区分は問わず毎年先進都市の視察を行うものとして定め実施しています。（議会報特別委員会については、任期中予算の範囲内で道内の先進都市の視察を行うと定めています）

以下、4月開催の議会報告会以降実施した各常任委員会及び特別委員会の行政視察の概要と、今後実施予定の行政視察についてご報告致します。（視察内容の詳細については実施直後の定例会及び議会だよりにおいても報告することとなっておりますので併せてご参照下さい）

◎総務文教常任委員会

視察先 和歌山県岩出市、京都府宮津市、兵庫県豊岡市、鳥取県鳥取市、
岡山県瀬戸内市、兵庫県赤穂市、兵庫県明石市

訪問日 29年7月11日～14日

概要 和歌山県岩出市の岩出市立岩出図書館は、多くの市民から本格的な図書館が欲しいとの要望を受けて平成18年に建設されました。いつでも、どこでも、だれでも図書館サービスを受けられる地域密着型の運営を基本理念に、「恵まれた自然環境」「静かで読書や学習にふさわしい」「駐車場が広い」「木のぬくもりを感じる図書館」「児童スペースの充実」などが特徴です。街の中心部から離れた、自然環境豊かで文化創造の聖地的な図書館で、理念や環境について参考になりました。

京都府宮津市では京都丹後鉄道を訪見し、上下分離方式を含む鉄道運営について視察をしました。平成27年からウィラー・トレインズ(株)が運営を開始し、駅名の変更や制服のリニューアル、インバウンドの利用拡大や観光列車の利便性向上などの乗客確保に向けた取り組みを行っています。観光列車については、地域の食材を活かしたレストラン列車をはじめ、トレインアテンダントが乗車し車窓の見どころなどの観光案内をするなどして運行しています。

兵庫県豊岡市では防災行政無線について視察をしました。平成16年の台風23号の際に屋外拡声子局が機能しなかった教訓を生かして、防災行政無線の整備が検討されました。戸別受信機を市内33,000世帯に全戸配布し、転入時に無償貸与し転出時に返却されています。また、市議会に「防災対策調査特別委員会」を設置し、様々な防災に関する事項を調査しています。

鳥取県鳥取市では、さじアストロパークを視察しました。さじアストロパークは旧佐治村の時代に当時としては日本最大級の103cm望遠鏡を設置し建設された施設です。天体観望会を毎日行い、星空解説、プラネタリウム、太陽観察などを行っています。また、学校の要望により小中学校に職員が出向いて星の授業を行い、高校では宿泊研修「高校天文セミナー」の講師を務めるなどの活動が行われています。

岡山県瀬戸内市では、瀬戸内市民図書館を視察しました。平成28年6月に開館、基本理念を「もちより・みつけ・わけあう広場 “もみわ広場”」とし、その実現のために7つの指針を定めています。サービスネットワークでは市内他の図書館、保育所、幼稚園、高齢者施設を巡回する移動図書館を展開し、各小中学校とはオンラインでネットワーク化し、どこからでも検索できるようになっています。

兵庫県赤穂市では赤穂市立図書館を視察しました。平成13年に市制50周年記念事業として建設され、「読書に集中できなくなるほど美しい図書館」としてグッドデザイン賞を受賞した図書館です。館内は忠臣蔵に代表される元禄ロマン、城下町のたたずまいなど赤穂らしさを表現した様々な展示スペースを配置しています。またレファレンスサービスの充実や、子ども向けおはなし会、上映会、茶道教室、科学工作教室などの取り組みを行っています。

兵庫県明石市ではあかし市民図書館を視察しました。平成29年1月に駅前再開発ビルの中に開館し、指定管理で運営しています。同じビル内に公共施設として、あかし子育て支援センター、一時保育ルーム、こども健康センター、あかし総合窓口があります。職員は指定管理の民間職員ということもあり、対応が明るくはつらつとしており、カウンターの設計では立って対応するアイデアを提案するなど、接客対応や作業の効率性など民間企業のノウハウを取り入れています。

◎議会報特別委員会

視察先 石狩市、留萌市

訪問日 29年4月26日～27日

概要 石狩市議会では、特色ある紙面づくりについて視察・研修を行いました。石狩市の議会報は市の広報誌とともに札幌市の業者へ委託、デザイン性などの優位性とともに委託経費の節約となっていました。プロポーザル方式の入札となっており、参加業者は市民へのアンケート調査にも取り組んでいました。レイアウト等専門家が行っていることもあり、紙面の見やすさなど参考になりました。

留萌市議会では「議会かわら版」発行などについて視察・研修を行いました。留萌市議会の議会広報は年4回、費用削減を目的に平成16年5月より市の広報誌の中に組み込んで発行されています。また、市民に親しまれる議会だよりとするために公募によりネーミングを「議会です こんにちは」に変更するなどの工夫をしています。議会かわら版は委員手作りのA3版片面カラー刷り（ポスター状）を月1回年12回を原則として、市内公共施設など9カ所に掲示しています。読む議会だよりから、見る議会だよりへと取り組みをすすめており、市民へのアピール度は大きいものがあると感じました。

◎議会改革調査特別委員会

視察先 紋別市、栗山町、芽室町

訪問日 29年4月19日～21日

概要 紋別市議会は、平成26年7月の選挙より議員定数を18名から16名へ削減、それに伴い3常任委員会から2常任委員会へと変更し議会活動を行っており、今後の定数議論の参考とするための視察先として選定をしました。定数削減の議論において、賛成意見としては市民から削減の声が大きいなどの意見が、反対意見としては市民の幅広い意見を反映させるためには削減すべきでない、などの意見があり最終的には賛成多数で削減となったとのことでした。その他2常任委員会の活動の状況について説明を受けました。

栗山町議会は平成18年に全国初となる議会基本条例を制定した議会改革の先進自治体であり、栗山町議会基本条例の特徴的事項とそれに基づく実践例について学びました。議会報告会は毎年3月に実施し、12会場延べ200人以上の住民が参加しているとのこと。また、町民や団体等との意見交換のため、議会主催による「一般会議」を開催して議員と町民が自由に意見交換する場を作っています。

芽室町議会は議会改革度ランキングにおいて、2年連続で全国1位となるなど議会改革の最先端を行く議会です。平成25年より議会開議の主導権確立と委員会活動と議員活動を機動的に行うために、通年議会制を導入しています。また、議会活性化計画を策定し年度毎に評価書としてまとめることに

より、議会の見える化とPDCAサイクルを確立させています。他にも議会だよりの毎月の発行や「議会フォーラム」開催による住民との意見交換など多くの取り組みを行っています。

◎市民福祉常任委員会（予定）

視察先 東京都世田谷区、宮城県仙台市、宮城県登米市、岩手県宮古市

訪問日 29年11月6日～9日

- 調査内容
- (1) 東京都世田谷区
 - ・国立成育医療研究センター「もみじの家」の取り組みについて
 - (2) 宮城県仙台市
 - ・地域住民のやりがいを引き出す自主的な介護予防グループ支援について
 - (3) 宮城県登米市
 - ・医療型短期入所モデル事業について
 - (4) 岩手県宮古市
 - ・地域包括ケア実現に向けた地域ケア会議構築などの取り組みについて

◎経済建設常任委員会（予定）

視察先 島根県松江市、鳥取県境港市、鳥取県倉吉市

訪問日 29年11月13日～16日

- 調査内容
- (1) 島根県松江市
 - ・㈱きまち湯治村の取り組みについて
 - (2) 島根県松江市
 - ・㈱玉造温泉ゆーゆの取り組みについて
 - (3) 鳥取県境港市
 - ・さかなと鬼太郎のまち境港市としての取り組みについて
 - (4) 鳥取県倉吉市
 - ・中心市街地活性化事業について

【政務活動費（平成28年度）について】

議員に対しては、政務活動費として1人当たり月10,000円、年間で120,000円が会派に交付されています。

政務活動費は、平成12年の地方自治法改正で「政務調査費」という名称で新たに導入された制度で、平成25年度から「政務活動費」に名称が改められました。

名寄市にあっては使途基準に従い、各会派が責任を持って執行し、議長に領収書原本（1円以上）を添付した報告書を提出しています。

なお、8月1日発行の議会だより45号に各会派の政務活動報告を掲載しておりますので
ご一読ください。

平成28年度における執行状況は以下のとおりです。

<市政クラブ・新緑風会>	交付額	960,000円	
調査研究費		923,612円	
研修費		22,680円	
資料購入費		23,814円	
合計		970,106円	
<市民連合・凜風会>	交付額	840,000円	
調査研究費		510,224円	
研修費		144,230円	
広報費		15,700円	
広聴費		12,800円	
資料作成費		9,783円	
資料購入費		2,100円	
合計		694,837円	
			145,163円返還
<公明>	交付額	120,000円	
			交付額全額120,000円返還
<日本共産党>	交付額	120,000円	
研修費		7,204円	
広報費		8,025円	
資料作成費		3,002円	
資料購入費		24,948円	
合計		43,179円	
			76,821円返還
<名風会>	交付額	120,000円	
調査研究費		130,463円	
合計		130,463円	

※交付額を超えた費用については、各会派で負担しています。

【議会改革の進捗状況について】

本年4月に今後の議会改革議論をより深めることを目的として、委員会として初めての先進地視察を実施しました。2常任委員会での議会運営を行っている紋別市、平成18年に全国初となる議会基本条例を制定した栗山町、議会改革度ランキングで2年連続全国1位となった芽室町の3ヶ所を訪問し視察研修を行い、議会改革の先進事例を学びました。

6月には市民の皆様の議会に対する意識等を把握し、今後の議会改革の参考にさせていただくことを目的に、「名寄市議会に関する市民アンケート調査」を実施しました。アンケート回収後、集計、分析を行い、10月1日付けの議会だより増刊号にて結果を公表させていただきました。（名寄市議会ホームページにおいても公表済み）今後は、アンケート調査で頂いた市民の皆様の声を真摯に受け止め、議会としてどのように対応していくのか考察し、議論を重ねてまいります。

また、今回開催の議会報告会は、年2回の実施に変更後はじめての町内会単位での開催であり、4班体制という少人数での取り組みも今任期において初の試みです。今後においてもきめ細かく市民の皆様のご意見等を伺う機会を継続して作って行くと同時に、幅広い世代や団体等の皆様と意見交換ができる場を積極的に作ってまいります。

今後の議会改革の取り組みは、「議会基本条例に基づく活動の検証と改善策の検討」が議論の中心になってまいります。具体的には議会及び議員の活動原則、議決事項の定め、政務活動費、議員定数など検討事項は多岐にわたりますが、より市民に信頼され必要とされる議会のあり方について一層議論を深めていく所存です。

メモ

議会報告会の班体制（◎は班長）

《A班》（担当・・・1区町内会館、智恵文多目的研修センター、瑞生コミュニティセンター）

- ◎黒井 徹（議長）
- 高野美枝子（総務文教常任委員会副委員長）
- 大石 健二（市民福祉常任委員会副委員長）
- 野田三樹也（総務文教常任委員会委員）
- 佐久間 誠（経済建設常任委員会委員）

《B班》（担当・・・栄町団地集会場、西部地区集落センター、東風連子供と老人福祉館）

- ◎佐藤 靖（副議長・総務文教常任委員会委員）
- 川口 京二（経済建設常任委員会副委員長）
- 佐々木 寿（市民福祉常任委員会委員・経済建設常任委員会委員）
- 塩田 昌彦（市民福祉常任委員会委員・議会報特別委員会副委員長）
- 浜田 康子（市民福祉常任委員会委員）

《C班》（担当・・・豊栄福祉会館、児童センター、高見区町内会福祉会館）

- ◎山田 典幸（議会運営委員会委員長・総務文教常任委員会委員）
- 熊谷 吉正（市民福祉常任委員会委員長）
- 川村 幸栄（経済建設常任委員会委員・議会報特別委員会委員長）
- 東川 孝義（経済建設常任委員会委員）

《D班》（担当・・・東12区町内会館、ひまわりらんど、東部地区集落センター）

- ◎奥村 英俊（議会運営委員会副委員長・経済建設常任委員会委員長）
- 東 千春（総務文教常任委員会委員長）
- 山崎真由美（総務文教常任委員会委員）
- 高橋 伸典（市民福祉常任委員会委員）